

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 愛知厚生年金会館
 事務局 ☎763-5110
 会長 野村 義雄
 幹事 深見 章
 会報委員長 北野 寿三郎

No. 35

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE
DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987～88年度 RI会長 チャールズ・C.ケラー

第279回例会 昭和63年 3月22日(火) 雨

◇ “それでこそロータリー”

◇ 出席報告

会 員 56(55)名 出席 44名

出席率 80%

前 回 3月15日 (修正出席率)96.36%

◇ ビジター紹介 4名

◇ ニコボックス

松藤 国弘君

○永い間皆様に御世話に相成りありがとうございます。4年間良い勉強をさせて頂きました。今月をもって退会させていただきます。少年隊、麻雀会、ゴルフ会、いろいろご迷惑をかけました。

○麻雀会優勝しました。

菅原 宣彦君 親友、松藤君が東京栄転で退会いたします。元気で活躍されますことを祈って。

菊池 昭元君 下手な話で恐縮です。しばらくのおつきあいお願いいたします。

太田 茂君 3月17日ゴルフ会で優勝しました。

渡辺 辰夫君 過日の会合で靴を間違えまして、太田さんに大変ご迷惑をおかけ致しました。申し訳ありません。

尾関 武弘君 結婚記念日祝い。

◇ 深見幹事報告

1. 次回例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方はお残り下さい。

◇ 松藤君退会挨拶

この4年数ヶ月、私ロータリーというものを始めて体験させて頂きました。自分の人生の中で大変ありがたい勉強をさせて頂いたという思いであります。長いようで短い時間でしたが皆さんから「マッチャン、マッチャン」とかわいがっていただきました。これは自分の記憶の中にきっちり留めおいてこれからも長い御交誼をお願いしたいと思っ

ております。

4月1日付で機軸設計本社営業室長として転勤することになっております。またお仕事の上でもいろいろお世話になるかと思いますが、今後共よろしく願ひいたします。

どうもありがとうございました。

◇ 野村会長挨拶

仲々日米間の経済摩擦が終息せず、牛肉、オレンジ、建設市場の自由化で執拗な要求がつけられており、果ては報復だ制裁だ懲罰だとわめいている様で、最近の米国は病的と思われる程異常であると思います。

通常取引は、その時々需要と供給との関係で取引の条件が決まる。現在は殆んど分野で供給能力が上廻っているの、取引の条件は需要側に有利なバイヤーズマーケットであります。

需要側が要らないと言うものを、自分の供給力が余っているから買え、買わなければ報復するぞと言うのは、まともな人の言う事ではない。米国は立ち直って欲しいわけです。

現在の様な状態が今後共続となると私達も困るわけですが、『アメリカはこれから立ち直れるだろうか』というレポートが、ニューズウィークに出ている様で、それには、

1. アメリカは脱工業化社会という考え方でサービス化の時代を目指したが、大失敗であった。製造業は自動化等でドンドン生産性が上るのに対し、サービス化は労働集約型であるから生産性の伸びが鈍い。従って生産性が上らないから給料も上らない。インフレが加わり実質賃金が目減りした。

アメリカの経済を立て直す為には、製造業をもう一度活性化せねばならない。

2. 紙きれの上で数字合せをしたり、グラフを読む丈を経営と思っている経営者ではなく、現場をよく知っている経営者が乗り出さな

れば、経済は立ち直らない。

と述べてある由です。

もともとアメリカは巨大な力を持っているわけで、1の点について考えてみると、同国の技術力は現在でも抜群で、依然として最大の技術輸出国であり、日本の技術輸出額はその十分の一にも達しません。

先端技術の分野に於ける両国のリード分野比較を行うと、(今年1月、日米経営者アンケートによる)圧倒的にアメリカが強く、具体的には、スーパーコンピューター、人工知能およびエキスパートシステム、超電導など九分野では格段の強さを発揮し、日本はロボット工学等三分野で優位に立っているに過ぎません。

アメリカが立ち直って友好的に話合いが進むことを期待するや切なるものがありますが、一方で日本が変な自惚れを持っていると将来泣きを見ることになりかねないので、心をひきしめ技術革新に対応して行かねばならないと存じます。

◇ 講演

“18才の海軍2等兵”

歴代会長 菊池 昭元 君



今日は歴代会長卓話と言う事で戦后43年、戦争を知らない人達の世代となった今日、昔の青年の苦勞の一端、私の海軍2等兵新兵の体験談をさせて頂きます。昭和18年と言えば大東亜戦争が没発し、1銭5厘の召集令状で一家の主も御上に召されたのであります。私も18才にして海軍を志願しました。私の家では親父も近衛師団で、大東亜戦争に於いては志願した2人と召集の1人の兄達と自分を含め4人が兵隊と言う家庭でありました。

新兵海軍2等兵の日常生活

1分隊とは1班15名、14~15班200名位の編成で1デッキの団体生活であります。朝7時起床ラッパのケタタマシイ響く音で吊床から飛降り吊床を上げる。最初の頃は畳の上の積りで寝返りを打つと、吊床はくるっと回って身体は約160cm下の床に「ドスン」と落ちる。痛さと恥ずかしさで次第に静かに寝られる様になる。8時に朝礼し、終って食事は、食べ盛りの若者にとって何処にも足りない、4ヶ月間の新兵教育で見る影もなく見違える程やせて仕舞った。洗濯は下着以外は総て貸与品で員数のチェックが時々行われる。屋上の物干場で干し物がなくなる。数合せの為には背に腹替えられない、他の分隊の物干場にソット人影のない事を確認、素早く失敬して逃げ戻

る。入団1ヶ月すると月2回心のこもった食べ物を沢山持って来てくれる家族との面会である。味わうより如何に多くを詰め込む食い貯めが出来たのである。

海軍魂と精神棒

何事にも徹底して息の合った共同作業や動作が要求される。一人の失敗も(200人)分隊全員の責任が問われる。何時もビリから大体30名位が全員の見守る前で通路に並べられ肌着1枚となった班長6名位が交互に1人当たり5本位力一杯精神棒で叩かれる。一番多く叩かれたのは班長に口答えした為徹底的に30本以上5人位の班長が変る変る思い切り叩く、やがて本人は失神して床に倒れる「水を持って来い」と、冷水を頭からぶっかける。本人は暫らく失神状態20日間位動けなかった。私も敗戦で総ての目標を失ったが、現在あるのは鍛えられた体力とどんな苦しい事にも、どんな大きな壁に打ち当たっても、耐えられる辛抱する。精一杯努力して、人には絶対負けない精神力を叩き込まれたお蔭であります。まだ練兵場に於ける経験等沢山ありますが本日は4ヶ月間ではあるが根生ある人造りの方法の一端を聞いて頂きました。この頃の青少年にも心身共に健全で根生ある人造りの手を打つ必要性を痛感するものであります。

麻雀会

(於: 松風閣 3/14(月) PM 6:00~)

RANK	NAME	MARK
優勝	松藤 国弘	57,000
2位	笹野 義春	30,000
3位	野村 義雄	11,000
B B	鷺野 義明	- 30

◇ 例会変更のお知らせ

- 豊山一城北R C 4/5(木)春の家族会の為、4/3(日)ホテルナゴヤキャッスルにてPM 6:00より
- 名古屋和合R C 4/6(木)F.S.M.の為、八事山興正寺にてPM 5:30より
- 名古屋大須R C 4/7(木)春の家族小旅行の為、4/3(日)知多半島めぐりAM 8:30より
- 名古屋港R C 4/8(金)春の家族旅行会の為、4/3(日)名鉄犬山ホテル、リトルワールドにてAM 9:30より
- 名古屋守山R C 4/9(土)春の家族会の為、彦根城・湖東方面にてAM 9:00より

◇ 次回例会(3月29日)

講演 “私の職業について”

会員 大矢 佳正 君、伊藤 孝 君

◇ 次々回例会(4月5日)

クラブフォーラムの為、講演はございません。